

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第34回相模原市地域包括支援センター運営協議会		
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進課 電話042-769-9231 (直通)		
開催日時	令和2年7月17日(金)～7月27日(月)		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)	
	事務局	/	
	その他	/	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	/
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 地域包括支援センター運営状況等について</p> <p>①令和元年度地域包括支援センター業務実績</p> <p>②令和元年度地域包括支援センター事業評価及び令和2年度事業計画</p> <p>③介護予防ケアプランに係る公正・中立性に関する評価</p> <p>④令和元年度地域包括支援センター収支決算</p> <p>⑤令和2年度地域包括支援センター収支予算</p> <p>⑥地域包括支援センター職員の状況について</p> <p>(2) 地域包括支援センター運営事業受託候補法人等の選考について</p> <p>(3) 地域包括支援センターにおける新型コロナウイルス感染症対応について</p> <p>(4) 第8期相模原市高齢者保健福祉計画の策定について</p> <p>3 閉 会</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の意見、●は事務局の回答)

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 開 会

2 議 題

(1) 地域包括支援センター運営状況等について

- 地域ケア会議について、平成29年度をピークとして、特に地域づくり部会の会議開催回数が減少しているが、主要原因の分析と今後の方向付けはどうか。
 - 地域づくり部会は各地区概ね年間4回の実施としている。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少となったが、今後も地域の課題を協議し、対策を検討する場として継続していく。
- 自己評価Dの1センターについて、なぜDという結果になったのか。
 - 地域ケア会議個別事例部会において、D評価をしたセンターは個別事例部会を開催したが、医療関係者の出席が得られなかったことから、D評価としている。D評価の場合、その理由や状況を確認し、今後の取組や改善について促すこととしている。
- 初回相談の約10倍以上が継続相談案件となっているので、前々回から指摘しているように、効率化や最適化を図るため、その内訳を分析し評価してはどうか。
 - ご意見を踏まえ、相談状況等の現状把握を適切に行い、引き続き、業務に取り組んでいく。

(2) 地域包括支援センター運営事業受託候補法人等の選考について

- 当初、選考委員が市職員のみであったが、外部の第三者も加わったことで、さらに公正中立となりよいと考える。
 - 外部委員を交えた選考委員会を実施し、公正中立な選考を実施する。
- 一次応募分については、3圏域を除いて実質的に決定していると考ええる。応募センター側の安心感と今後の準備推進等、経営安定化のため、手続きを早急に進め、当該センターに通知するとともに、HPで周知してはいかかがか。二次募集分も同様に迅速化してはどうか。
 - 地域包括支援センターの運営の安定化や、選考の公平性の確保の観点踏まえ、適切に運営法人を選考し、決定していく。

(3) 地域包括支援センターにおける新型コロナウイルス感染症対応について

- 新型コロナウイルス感染症により、外出を控える高齢者が多い。外出控えによる体

力、筋力の低下、他者とのコミュニケーションの減少による認知機能の低下や抑うつ状態を招くことも少なくない。また、ストレスによる虐待のリスクも社会問題になっている。新型コロナウイルスは第2波を迎え、しばらくは予防の取組は必要となるが、with コロナも視野に今後の相談、活動の支援策を考えていく必要があるのではないか。

● 新型コロナウイルス感染拡大により、外出や交流の機会の減少は、高齢者の身体的・社会的な虚弱につながるものと認識している。地域包括支援センターでは自宅でもできる体操のリーフレットを作成し配布する等センター毎に取組を進めている。また、支援が必要な高齢者に対し、電話や訪問等により在宅での生活状況や健康状態等の把握に努めるとともに、地域の関係機関等とも連携しながら、相談支援を継続している。

○ 月次情報誌の発行により、新型コロナウイルスや熱中症に関する情報をタイムリーに提供し、自治会の回覧や老人クラブの会合等で活用されている。

● 地域包括支援センターでは、情報紙の作成や回覧等を使い、引き続き地域で活用いただけるようなタイムリーな情報発信に努めていく。

(4) 第8期相模原市高齢者保健福祉計画の策定について

○ 地域ケア会議が開催できなくても、第7期計画の振り返りを行い、来期に活かしていただきたい。

● 振り返り等については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、慎重に検討した上、計画の策定を進めていく。

○ 昨年改正された社会福祉法に伴い新たな包括的支援制度が来年度からスタートする。このため第8期計画の策定に向けて、当該制度（高齢者、障害者、子供一括相談受付対応の支援、当事者の社会参加の支援、地域ネットワーク作りの支援等）を取り入れた場合を視野に入れて策定して欲しい。また、市社会福祉審議会において第8期計画が調査審議されることとなっているが、何らかの形で当協議会の意見等を反映させる方策を考えていただきたい。

● 市の組織再編により、地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉が一体的に計画策定を検討できる体制となった。第8期計画では、地域共生社会の実現等に向けて、現行の高齢者福祉施策だけでなく、地域福祉や障害者福祉の取組を踏まえ、既存施策の推進や新たな施策の立案等が可能と考える。第8期計画の具体的な記載内容については、今後、社会福祉審議会高齢者福祉等専門分科会や関係団体等の意見を踏まえ、検討する。

3 閉会

以 上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

令和2年7月開催

No.		氏名	ふりがな	選出団体等	出欠席
1	委員	梶山 和美	かじやま かずみ	神奈川県看護協会相模原支部	出席
2	委員	石川 寿美子	いしかわ すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	出席
3	委員	石黒 雄彦	いしぐろ たけひこ	相模原市老人クラブ連合会	出席
4	委員	木村 俊明	きむら としあき	公募市民	出席
5	委員	木村 徳泰	きむら のりやす	日本労働組合総合連合会 相模原地域連合	出席
6	委員	小林 立	こばやし りゅう	相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
7	副会長	小山 聡	こやま さとし	さがみはら介護支援専門員の会	出席
8	委員	笹野 章央	ささの あきお	相模原市社会福祉協議会	出席
9	委員	高澤 厚子	たかざわ あつこ	神奈川県社会保険労務士会 相模原支部	出席
10	委員	田所 利一	たどころ としかず	公募市民	出席
11	委員	田中 雄一郎	たなか ゆういちろう	相模原市歯科医師会	出席
12	委員	富樫 るみ	とがし るみ	友知草の会	出席
13	委員	西田 洋子	にしだ ひろこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
14	委員	原田 裕也	はらだ ゆうや	神奈川県弁護士会相模原支部	出席
15	委員	久松 信夫	ひさまつ のぶお	学識経験者	出席
16	委員	福本 容子	ふくもと ようこ	公募市民	出席
17	委員	舟戸 麻衣	ふなど まい	日本公認会計士協会神奈川県会	出席
18	委員	穂苅 健二	ほかり けんじ	相模原市自治会連合会	出席
19	委員	幡野 公香	はたの きみか	神奈川県社会福祉士会相模原支部	出席
20	会長	水上 潤哉	みずかみ じゅんや	相模原市医師会	出席